

GRAFIK Eye®

グラフィックアイシリーズ

GRX-CIR-JA

リモートコントロールレシーバー (天井取付形)

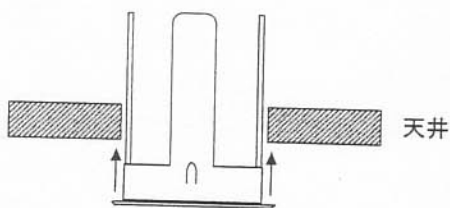
このレシーバーは、リモートコントロール (GRX-IT-JAまたはGRX-8IT-JA) からの赤外線信号を受け、グラフィックアイ3000または4000の操作をします。360度、どの角度からでも受信でき、最大15m離れた所からの操作が可能です。

取付工事店・電気店様へのお願い

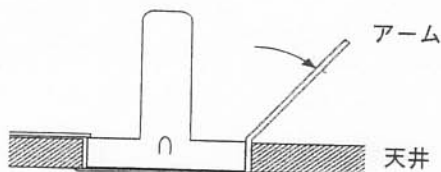
1. 取付け前にこの説明書を通りお読みください。
2. 本器は、リモートコントロールからの赤外線信号を直接受けられる、障害物のない所に取付けてください。また通風口や照明器具の近く、直射日光の当る所に取付けしないでください。
3. システムの最大容量を超えないようにしてください。補助コントロールは、一つのシステムに16個まで取付けることができます。またグラフィックアイ3000の場合、一つのメインコントロールで動作できるのは3個までです。
4. 取付けは、必ず電源を切ってから始めてください。またこのレシーバーは弱電流配線ですので、100V電源線を接続しないよう注意してください。誤った配線は故障や損傷の原因となります。
5. レシーバーの赤外線レンズに触れないでください。
6. 取付け後、この説明書はお客様にお渡しください。

取付方法

1. 配電盤の電源を必ず切ってください。
2. レシーバーの取付け場所を決め、天井に56mm四方の正方形の穴を開けてください。(裏面に実寸大のテンプレートがあります。)
3. レシーバーの取付金具を本体から取外し、図のように4本のアームを上にして穴に差し込みます。

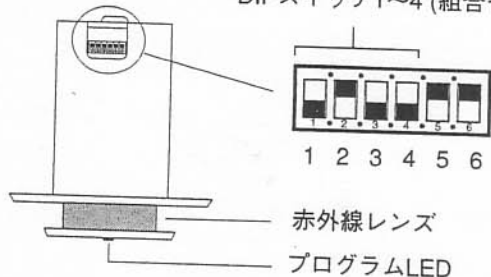


4. 取付金具と天井の間に隙間ができないように注意しながら、4本のアームを外側に折り曲げしっかりと固定します。

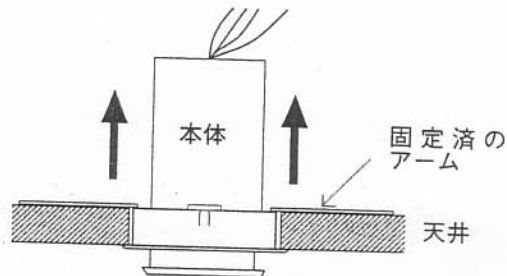


5. メインコントロールユニットのアドレスが設定されている事を確認してください。アドレス設定の詳細は、グラフィックアイ、アドレス設定ガイド (P/N 041-083) をご参照ください。
6. 本体のDIPスイッチ1から4でアドレスを設定してください。この時、同じシステム内の補助コントロールのアドレスが、それぞれ異なるよう設定してください。アドレスの組合せ例は、グラフィックアイ、アドレス設定ガイドをご参照ください。(スイッチ5と6は、このレシーバーには関係ありませんので、そのままにしておいてください。)

DIPスイッチ1~4 (組合せ例)



7. 本体から出ている低電圧線4本の被覆を約1cmむいてください。
8. グラフィックアイ3000シリーズをご使用の場合、裏面の配線図およびメインコントロールの取付説明書を参考に配線してください。ケーブルは、ベルデン社9156、アルファ社1132C、またはこれに相当するケーブルをご使用ください。また4000シリーズをご使用の場合、承認図を参考に配線してください。(ケーブルについての詳しくは、ルートロンホットラインまでお問い合わせください。)
9. レシーバーの本体を天井に取付けた取付金具に差し込み、配電盤の電源を入れてください。

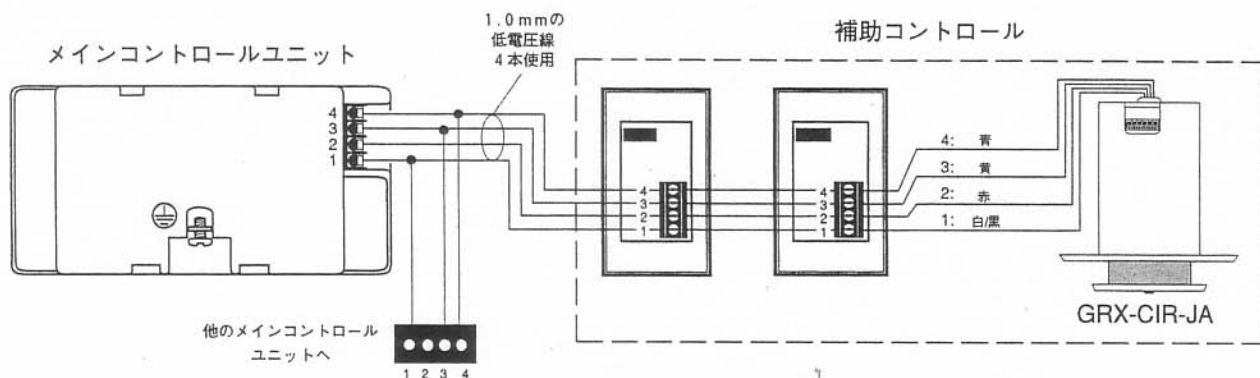


LUTRON®

This product may be covered by one or more of the following U.S. patents: 4,825,075; 4,893,062; 5,017,837; 5,030,893; 5,191,265; 5,430,356; 5,463,286; DES 308,647; DES 313,738; DES 344,264; and corresponding foreign patents. U.S. and foreign patents pending. Lutron and GRAFIK Eye are registered trademarks.
© 1995 Lutron Electronics Co., Inc.

Made and printed in U.S.A. 9/98 P/N 040-107 Rev. B

配線例 (グラフィックアイ3000シリーズの場合)



メインコントロールのターミナル2(+12V)は、補助コントロール(3個まで)への電力供給をします。メインコントロール間の配線の際には接続しないでください。

配線は並列接続で、スイッチボックスを使用してください。またジャンクションボックスを使用する場合、補助コントロールから2.4メートル以内に設置してください。

プログラム設定

- リモートコントロールをレシーバーに向け、シーン1とオフボタンを同時に3~5秒間押し続けてください。レシーバーがプログラムモードになり、プログラムLEDが点滅を始めます。
- レシーバーを通して操作するメインコントロールユニットを選択し、そのメインコントロールのシーン1ボタンを3~5秒間押し続けてください。シーンLEDがいっせいに点滅を始め、レシーバーとのプログラム設定ができたことが確認できます。プログラム設定済のあるメインコントロールを解除するには、そのメインコントロールのオフボタンをLEDが点滅を止めるまで押し続けてください。
- プログラムモードから抜けるには、リモートコントロールをレシーバーに向け、もう一度シーン1とオフボタンを3~5秒押し続けます。レシーバーのプログラムLEDの点滅が止まり、プログラムモードから抜けたことがわかります。
- 選択したメインコントロールがレシーバーを通して正常に動くことを確認してください。(プログラム設定の詳細は、アドレス設定ガイドをご参照ください。)

故障と思われる前に

レシーバーがプログラムモードにならない
(プログラムLEDが点滅しない)

- 配電盤の電源が入っているか確認してください。
- ターミナル1(COM)と2(+12Vまたは+24V)への接続、およびシステム全体の配線を確認してください。
- メインコントロールのアドレスは設定されていますか。

レシーバーが全く動作しない、

または断続的にしか動作しない

- ターミナル3(data+)と4(data-)への接続を確認してください。
- メインコントロールのアドレス設定およびレシーバーとメインコントロールのプログラム設定を確認してください。
- レシーバーに他の補助コントロールと異なるアドレスが設定されているか確認してください。

ご注意: グラフィックアイコントロールシステムに、別売のマルチコントローラーNTGRX-4Q-JAが含まれている場合、マルチコントローラーの機能がOFFになっている事を確認してください。

保証規程

ルートロンエレクトロニクス社は保証期間中(お買い上げ日より1年間)に、この取付説明書に従った正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理または交換をいたします。ただし、次の場合には保証期間中でも有料修理となります(1)誤った使用方法あるいは不注意によって生じた故障や損傷(2)電気工事店もしくは指定工事者以外の方による取付によって生じた故障や損傷(3)この取付説明書に従っていない誤った取付工事によって生じた故障や損傷(4)負荷または負荷回路の短絡によって生じた故障(5)当社サービスセンター以外による修理、改造による故障や損傷(6)火災、天災地変または異常電圧による故障や損傷(7)お買上げ後の輸送、落下等による故障や損傷(8)製品の故障によって生じた周辺設備に対する損傷。

修理につきましては当社サービスセンターもしくは販売代理店にご相談ください。

製造元
Lutron Electronics Co., Inc.
World Headquarters
7200 Suter Road
Coopersburg, PA 18036
U.S.A.
TEL (610) 282-3800
FAX (610) 282-3090

日本支社
ルートロン アスカ株式会社
〒105-0011
東京都港区芝公園1丁目1番11号
興和芝公園ビル2階
TEL: (03)5405-7333
FAX: (03)5405-7496
ルートロンホットライン
☎ 0120-083417 (目に優しいな)

